



# しあわせ

HAPPY NETWORK

No.22

平成28年3月発行

発行

守山市民生委員児童委員協議会

編集：広報研修委員会

事務局：守山市社会福祉協議会

住所：守山市下之郷三丁目2番5号

## 第2回全員研修会開催

# テーマ「介護保険制度改正と民生委員・児童委員活動」

守山市民生委員児童委員協議会は第2回全員研修会を平成28年1月28日(木)に開催しました。スライドによる市内各学区民児協の活動紹介の後、コーディネーターの大谷大学教授 山下憲昭氏より「地域福祉の充実が求められている時代と社会について」の説明がありました。続いて平成27年度県民児協連会長表彰を受賞された吉身学区と速野学区、独自の事例報告の後、まとめの講演「介護保険制度改正と民生委員・児童委員の活動」を聴講しました。超高齢化時代に突



入した現在、生活支援及び介護予防について、地域の多種多様な機関と連携し、特に地域住民、ボランティアを巻き込んだ自助・共助・互助の取り組み強化を教示いただき、また各地における見守りや支援についての事例等、今回の研修で得た多くの知識を今後の活動にいかしていきたいと思えます。

(岡田 記)



吉身学区発表



速野学区発表

## 受賞報告

この度、当協議会が優良団体として厚生労働大臣表彰を受賞、また、当協議会会長である富田秀圓氏が、永年の民生委員・児童委員としての活動の功績により、全国社会福祉協議会会長表彰を受けられました。



厚生労働大臣表彰受賞  
～守山市民生委員児童委員協議会～



全国社会福祉協議会会長表彰受賞  
～守山市民児協 会長 富田秀圓氏～

### 湖南4市単位民児協会長等交流会開催

去る11月12日、守山市の琵琶湖畔、セトレマリーナびわ湖を会場に、湖南地域4市単位民児協会長等交流会を開催、草津市・栗東市・野洲市・守山市より35地区の民生委員児童委員協議会の代表50名の参加を得ました。

交流会では、「認知症高齢者等への見守り支援」をテーマに、守山市認知症キャラバンメイトの方々



による寸劇と、包括支援センター坂口保健師より、認知症に関する講話やコミュニケーションのとり方などについて研修を受けました。

その後、グループ毎に、地域での支援のあり方を検討したり、協議会の運営について話し合ったりと、活動の交流を深めました。

(富田 記)

### 志摩市阿児地区民児協が来所されました

平成27年11月10日に三重県志摩市阿児地区の民生委員・児童委員27人の視察研修を受けました。テーマが「子育て家庭のSOSを見逃さない仕組みについて」という内容であったため、守山市の主任児童委員会が対応しました。

守山市の子育て支援活動の現状を説明して、具体的な活動事例として吉身学区の「子育てサロン」実践、玉津学区の「赤ちゃん訪問」活動を報告しました。その後、志摩市阿児地区の活動報告を受け



て、お互いの意見交換を行いました。

守山市の「赤ちゃん訪問」活動については志摩市でも関心が深く、活発な質問や意見が終了時刻まで途切れることはありませんでした。

この視察研修を受けて、守山市の民生委員・児童委員、主任児童委員の活動が他市の参考になったことを喜びとともに、今後も先進的な活動を続けていく責任を感じることもなりました。

(畠中 記)

## 部会活動 ～第1部会～

部会長 間宮 京子



第1部会は、「住民の自立した生活をどう支援するか」をテーマにした部会です。毎月、グループで話し合いをおこなったり、市内外の福祉施設を訪問したりと、民生委員・児童委員としての資質向上をはかっています。

先般は、米原市にある、「ケアセンターいぶき」を訪問しました。こちらでは、地域に根差した医療、家族ぐるみの医療、ひとを総合的に見る医療に徹し、「家に帰すこと」を目的に取り組んでおられます。全国的に在宅死を希望する割合が68%に対して、実状は12%であるのに、米原では30～40%という、先生のお話には驚かされました。守山市でも今後高齢化がすすみ、医療・地域・家族の連携が重要になってくると予想されることから、非常に有意義な研修となりました。



## 「学校園や家庭との連携強化を」

守山市教育長 田代 弥三平



この度、守山市民生委員児童委員協議会におかれましては、平成27年度社会福祉功労厚生労働大臣表彰の受賞、誠におめでとうございます。民生委員・児童委員の皆様は、日頃から「住民の立場に立った相談・支援者」として、地域に暮らす人々のよき相談相手として信頼されています。そればかりでなく、高齢の方々の見守りや児童虐待、配偶者等からのDVといった社会的課題の解決に向けた取り組みの中心的な役割を果たされてきたことが高く評価されたものとお喜び申し上げます。

さて、育児不安、児童虐待、いじめや不登校、少年非行等、支援を要する子どもや家庭をめぐる課題は、年々複雑かつ多様化しています。また、インターネットや携帯電話への依存が深刻化し、大人や少年による痛ましい事件も続発する中、何よりも子どもの視点に立ち、安全で安

心して生活を送ることができる環境づくりが求められています。

守山市では昨年9月に、教育の目指す基本的な方向性や今後推進すべき施策を示す「教育行政大綱」を策定しました。その中で、子どもの健全育成やいじめ、不登校、虐待等については、地域とのつながりや福祉・医療等の関係機関との連携を大切にし、情報の共有や見守り体制を推進することとしております。

そうしたことから、今後は、民生委員・児童委員の方々と各家庭や学校園との「相談・連携」をこれまで以上に強めていただくことで、早期に子どもや子育て家庭の変化に気づき、より効果的な支援へとつなげていただくと確信しております。未来を担う子ども達が、地域の中で安心して健やかに成長しますよう、これからもよろしくお願い致します。

# 活動日誌

小津学区民児協

小津学区(9自治会)には、12人の民生委員・児童委員と2人の主任児童委員が日頃から、見守り活動、訪問活動、関係機関・団体と活動をおこなっています。

今年度の活動のなかで、特にお知らせしたいのは、広報紙の発行を新しく活動として加えたことです。

名称は、わかりやすく、「小津学区民児協だより」です。小津学区の方々に、だれが、どのようなことをしているのか(またその努力)をひろく知っていただくため、顔写真入りで第1号(平成27年8月)を、平成28年1月には第2号を発行しました。

これから、広報紙により「活動」「ねがい」を伝え、地域の方々と共に歩み続けていきます。

(大谷 記)



福祉に関する相談ごとは…

**TEL.583-2923**

社会福祉法人 守山市社会福祉協議会

## 編集後記

年始めに引いたおみくじが、「凶」だった。前もって気構えることで、来たるべき災厄を回避したり、少しでも和らいだりするかもしれない、と考えると、実は大吉よりも希少価値があり、かつ運がいい、と思うようにした。

1月末で、本会民生委員児童委員の事務局担当職員が退職した。大変残念の極みだが、彼女の今後の新しい職場と希望に満ちた人生を思うと、引きとめることなどできようか。1月28日、全員研修会終了後、参加した約120名の民生委員から惜しみなくおくれた感謝と祝福の拍手が、それを物語る。

暖冬で早咲き桜も開花する時期、当事務局も、ちょっぴり早い別れを経験した。

(宮西 記)

## 民生委員・児童委員紹介



本紙18号(平成26年3月発行)で民生委員・児童委員をお知らせして以後、就任された民生委員・児童委員を紹介します。

- 守山学区  
千代えみ子(千代)
- 吉身学区  
中村 公(岡)  
梅村 榮子(吉身東)
- 小津学区  
池田ひとみ(主任児童委員)
- 河西学区  
大内 順一(今市)
- 速野学区  
清水 好澄(開発)  
内田みき子(開発)  
今井 孝雄(中野)  
西村 清典(中野)